

2027年国際園芸博覧会政府出展屋内展示参画プログラム QA

【対象者について】

Q.年度を跨いだ事業であるが、学生の入替わりは可能か。

A.可能です。学生の入替えは発生するものと考えています。グループ内で取組みを引き継いでいただき、最終年度まで実施してください。

Q.1校から複数グループのエントリーは可能か。

A.1校から応募できるグループは、1グループのみです。

Q.グループの人数に制限はあるか。

A.グループの構成人数は問いません。ただし、キックオフミーティングや会場でのガーデン制作などにかかる旅費助成額には上限がありますので、ご了承ください。

【ガーデン制作、管理について】

Q.ガーデンのデザインは時期によって変化しても構わないのか。

A.構いません。時期によって咲く花が変わるため、デザインは変化するものと考えております。

応募にあたっては、最も見せたい時期のデザイン画を提出してください。特に時期による差がない場合は、開幕時(3月～6月頃)のデザイン画を提出してください。

Q.ガーデンに大きな木を植えたり、段差、盛り土などをしたりすることは可能か。

A.隣接するエリアに影響がない範囲であれば可能です。

Q.会場への植え付けは12月～となっているが、花が咲いていない状態でもよいのか。

A.植え付け可能期間は12月～3月上旬としており、その間の都合の良い日程(要調整)で植え付け作業を行ってください。園芸博開会時にガーデンが完成していれば、植え付け時にはまだ花が咲いていなくても構いません。

Q.メンテナンス(植え替え等)の回数に制限はあるか。

A.メンテナンスの回数に制限はありません。会期中は複数回メンテナンスが必要と想定しています。

【予算関係】

Q.備品と消耗品の違いは。

A.備品は機械器具その他の物品で、原形のまま比較的長期の反復使用に耐えるもので、消耗品は他の分類に属しない物品を指します。例えば、パソコンなどの長期使えるものは備品、花苗、肥料などは消耗品です。

Q.展示するために使用する飾りも消耗品か？例えばラティスなど。

A.本事業のために使用する装飾品で、単価が5万円以下のものは消耗品とします。

Q. 二次審査に参加するための旅費は。

A. 二次審査にかかる旅費を含め、審査にかかる費用は学校でご負担をお願いいたします。
なお、二次審査はオンラインでの参加が可能です。

Q.R8,9 年度の予算額は。

A.国は単年度予算であるため、大変申し訳ございませんが、現時点ではお伝え出来ません。

なるべく学校に費用負担がかからないよう、R8 年度はガーデンの制作にかかる費用、R9年度は維持にかかる費用を要求して行く予定です。